



昭和大学病院

クオリティインディケーター（QI）成果報告 〔循環器内科〕

指標名

退院時リハビリテーション指導実施数

目標・ゴール

循環器疾患治療のため心臓リハビリテーションを実施した入院患者において、退院時におけるリハビリテーション指導の実施数を年間 500 件以上に向上させること。

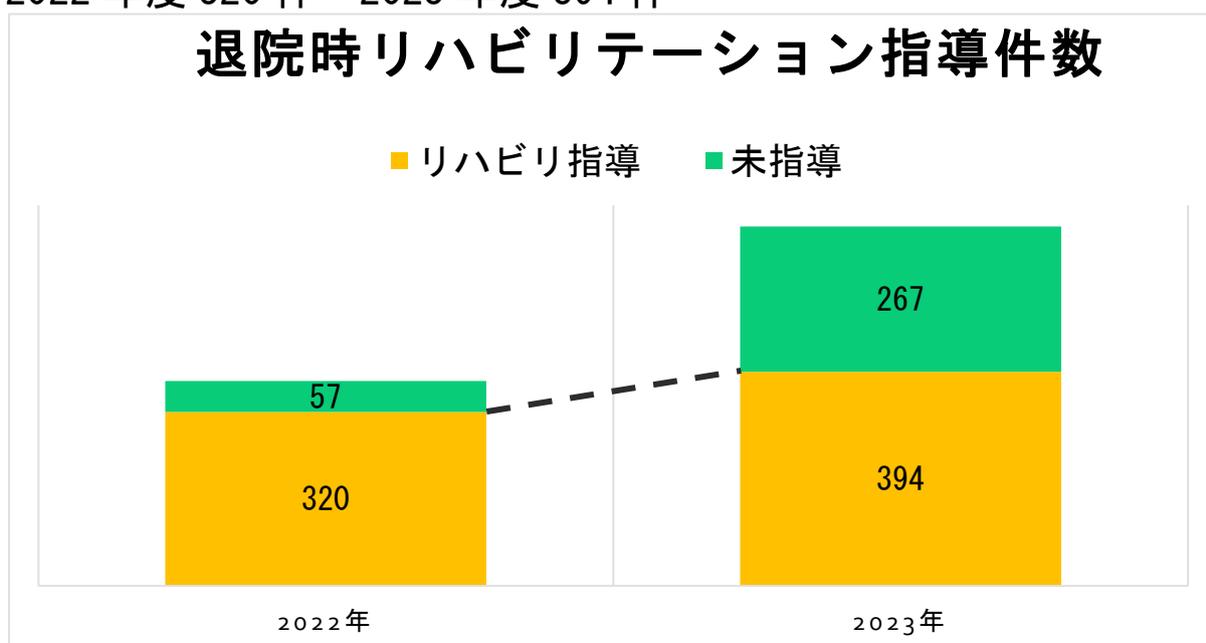
目標・ゴール達成による効果

患者の退院後の生活の質の維持、向上。

目標・ゴールに対する成果の状況

目標：500 件

2022 年度 320 件→2023 年度 394 件



目標・ゴール達成度

- S : 大幅に目標を上回った
- A⁺ : 目標を多少上回って達成
- A : 目標を達成
- B⁺ : 目標を少し下回った

☑B : 目標を下回った

- C : 目標を大幅に下回った
- : 外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

2022年度は320件であったのに対して、2023年度は394件と退院時リハビリテーション指導料の算定数は増加はしたが目標の500件には達しなかった。原因としては循環器以外の科で心大血管疾患リハビリテーション料を算定している患者の退院指導料の未算定が非常に多かったことが考えられる。循環器以外の心大血管疾患リハビリを算定している患者に対しての退院時リハビリ指導を行うように循環器の医師及び理学療法士が注意していくと2024年度には更に算定数の向上が期待出来る。

